

非常時持出品・備蓄品

リュックサックなどに入れておき、避難しなければならないときに持ち出す「非常時持出品」と、避難後の生活を支える「備蓄品」の2段階で準備しておくことが必要です。

リストを参考に、個人や家庭で必要なものをしっかり準備しておきましょう。

非常時持出品

- 携帯電話
- 水
- 食品(ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど・最低3日分の用意!)
- 防災用ヘルメット・防災ずきん
- 衣類・下着
- レインウェア
- 紐なしのズック靴
- 懐中電灯(手動充電式が便利)
- 携帯ラジオ(手動充電式が便利)
- 予備電池・携帯充電器
- マッチ・ろうそく
- 救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- 使い捨てカイロ
- ブランケット

子供がいる家庭の備え

- ミルク(キューブタイプ)
- 使い捨て哺乳瓶
- 離乳食
- 携帯カトラリー
- 子供用紙オムツ
- お尻ふき
- 携帯用お尻洗浄機
- ネックライト
- 抱っこひも
- 子供の靴

女性の備え

- 生理用品
- おりものシート
- サニタリーショーツ
- 中身の見えないごみ袋
- 防犯ブザー／ホイッスル

高齢者がいる家庭の備え

- 大人用紙パンツ
- 杖
- 補聴器
- 入れ歯
- 入れ歯用洗浄剤
- 男性用吸水パッド
- デリケートゾーンの洗浄剤
- 持病の薬
- お薬手帳のコピー

ペット用

- 飼育用ケージ・リード
- ペットフード
- トイレ用品 など

家に備えておくもの!

- 食料や水
(最低3日分!できれば1週間分)×家族分
保存期間の長いものを多めに買っておき、
消費したら補充するという習慣にしておけば、常に食料の備蓄が可能!
- 生活用品
例えば、ティッシュ、トイレットペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ、ガソリンや灯油、カセットコンロなど

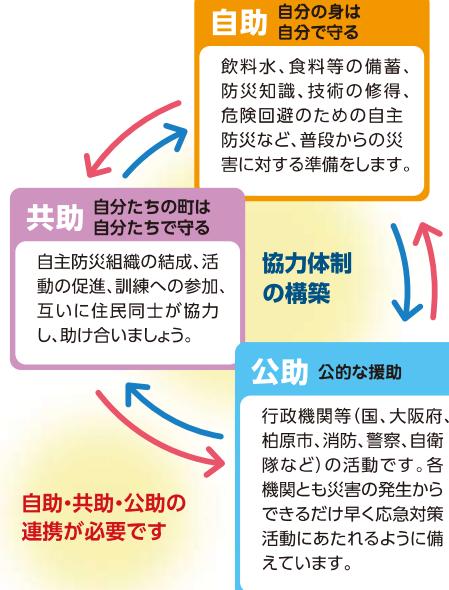
ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう。

備蓄品

地域防災活動

自助・共助・公助とは

災害に対する予防・応急復旧・復旧・復興には、住民の皆様と行政機関等がそれぞれ役割を果たし、協力・連携して対策にあたることが重要です。特に被害を最小限に抑えるためには「自助・共助・公助」の効率的な組み合わせが重要です。



自主防災組織の協力



自主防災組織とは

地域住民が連携し、自主的に防災活動を行う組織のことです。大地震のような大規模な災害時に備え、地域住民が連携して地域の被害を最小限に抑えることが自主防災組織の役割です。

平常時の活動

- ①防災知識の普及啓発
- ②防災訓練や地域の防災安全点検の実施
- ③防災資機材の備蓄

災害時の活動

- ①地域住民への避難の呼びかけ・誘導
- ②負傷者の救出・救護
- ③初期消火活動 ④避難所の運営



避難行動要支援者の避難誘導ポイント

避難行動要支援者は避難所までの移動に時間がかかるので、早めに避難を始めましょう。

高齢者・傷病者

あらかじめ支援者を決め、複数人で対応し、車いすや担架を使うほか緊急時はおぶって避難する。

目の不自由な人

まずは声をかけ、誘導するときは、腕を貸してゆっくりと歩く。できるだけ状況を言葉にして伝える。

耳の不自由な人

お互いに顔が向き合う形で、大きく口を開かし話しかける。伝わりにくい場合は身ぶり、筆談により伝える。

車いす利用者

階段では2人以上で援助し、上りは前向き、下りは後ろ向きに移動する。ひとりの時はおんぶして避難。

知的障がいや精神障がいのある人

状況の理解が難しい場合やパニックなどを起こしている場合は、声かけをして落ち着かせて、手を引くなどして誘導する。